

第五十九回 帝國議會
衆議院

寄生蟲病豫防法案外一件委員會議錄(速)第二回

付託議案

寄生蟲病豫防法案(政府提出)
明治四十年法律第十一號中改正法律案
(頗豫防二關スル件) 政府是出費族院送付

分ヲ爲シ得ルコト、致シタノデアリマス、糞便以外ノ物件デ本病傳播ノ媒介トナルモノニ向ヒマシテモ亦之ニ適當ナル處置ヲ加ヘ、寄生蟲若クハ其幼蟲ノ人體へ侵入スルノヲ防止スルコトガ必要デアリマスノデ、是等ノ處置ニ對シマシテモ亦糞便ノ處置ト同様ニ命令處分ヲ爲ジ得ルコト致シタノデアリマス、第四條ニハ市町村ヲシテ豫防設備ヲ爲サシムルコトニ致シマシタ、即チ本病ノ豫防ハ一人ノ努力ニ依ツテ其效果ヲ全ウスベキモノデハナク、一郷一村ノ全員ガ協力一致シテ豫防驅除ニ努メルコトニ依リマシテ、其豫防ノ徹底ヲ期シ得ルモノデアリマスノデ、市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ諸般ノ豫防施設ヲ爲スベキ義務ヲ負フコトトシタノデアリマス、第五條ニハ市町村ニ對スル道府縣ノ補助ノ規定ヲ置イタノデアリマス、即チ北海道地方費又ハ府縣ヲシテ前條ノ施設其他寄生蟲病豫防ノ爲ニ費用ノ支出ヲ爲ス市町村ニ對シテ補助ヲ爲サシメントシ、其歩合及ビ手續ヲ命令ニ委任致シタノデアリマス、第六條ニハ、第三條ニ依ル地方長官ノ命令又ハ處分ニ依ツテ豫防ニ關スル處置ヲ爲シタル者ニ對シ、道府縣ガ補助ヲ爲シ得ルノ規定ヲ置イタノデアリマス、豫防ニ關スル處置ハ相當ノ經費ヲ要スルモノデアリマスルカラ、第三

條ノ地方長官ノ命令又ハ處分ニ依ツテ之ヲ爲シマシタ場合ニハ、其費用ノ補助ヲ爲シ得ルコトヲ明カニ致シマシタ、既ニ道府縣ニ於キマシテハ以前ヨリ改良便所糞尿溜ヲ設置スル字組合又ハ個人ニ對シ、其費用ノ一部ヲ補助シテ居ルモノガアルノデアリマス、本法施行後ハ市町村ノ施設ニ對スル補助ハ、前條ニ於キマシテ之ヲ爲シ得ベキ組合又ハ個人ノ爲シタル豫防ノ處置アルモノハ本條ニ該當スルモノトシテ、之ニ補助ヲ爲シ得ルモノトシタノデアリマス、第七條ニハ國庫ノ道府縣ニ對スル補助ノ規定ヲ置キマシテ、本病豫防ノ爲ニ道府縣ノ費シマシタ支出額ノ六分ノ一ヲ補助スルコトニ致シマシタ、是ハ他ノ豫防法ニ倣フタノデアリマス、第八條ニハ罰則規定ヲ置キマシテ、第三條ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ違背シタ者ニ對シテ「トラホーム」豫防法ニ於ケル罰則ト同ジク、五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處スルコトニ定メタノデアリマス、尙ホ附則ニ本法施行ノ期日ヲ各條ニ依ツテ之ヲ定ムルコトニ致シマシタノハ、第七條ノ國庫補助ハ現時ノ國家財政上ノ關係ハ、當分ノ中現在ノ豫算ノ範圍ニ於テ補助ヲ爲スノ外ハナイ本邦國民ノ保健上緊急施行ノ要アル法期ニ讓ツタカラデアリマス、以上ノ如ク

案デゴザイマスカラ、御審議ノ上ドウカ御賛成アランコトヲ切ニ御願致シマス
○中馬委員長 質問ヲ許シマス、中島琢之君
○中島委員 御尋致シマス、第一條ニ一般的ノ寄生蟲病トシテ蛔蟲病、十二指腸蟲病ヲ限定シ、地方病トシテ住血吸蟲病、肝臟「デスマ」病、是ハ宜イノデスガ、ナゼ蛔蟲病ト十二指腸蟲病ダケヲ御規定ニナツタデアラウカ、ソレカラ主務大臣ノ指定スル寄生蟲病ト云フノデアリマスガ、ドウ云フ場合ニ主務大臣ガ御指定ニナルカ、或地方ニ於テ地方別ニ、此地方ニハ此寄生蟲ガアルト云フコトヲ指定シタ場合ト云フ御意思デアルカ、ソレカラ第五條ノ補助ノ規定デアリマスガ、第七條ニ國庫ノ補助ハ六分ノ一ト規定シテ居リマスガ、此第五條ニ於テハ補助ヲ爲スベシトアヅテ、如何程ノ補助ヲスルカハ一向示シテナイ、是ハ何カ標準ガアルコトデアラウカドウカ、ソレカラ寄生蟲病ノ豫防ニ關スル根本政策ニ付テ當局ノ御所見ヲ承リタイ

○赤木政府委員 第一條ニ於キマシテ本法ニ於テ寄生蟲病ト稱スルモノ、定義ヲ掲グマシテ、蛔蟲病、十二指腸蟲病、住血吸蟲病、肝臟「デスマ」病ノ四者ヲ限定致シマシタノハ、此四ツノモ

ノハ他ノ寄生蟲ニ比較致シマシテ、人體ニ對スル危險ノ程度ガ特ニ多イノデアリマス、之ニ感染シテ居リマスルモノモ其數ハ非常ニ多イ、而モ之ニ對スル豫防方法ガ既ニ明カデアリマスルノデ、豫防スル上ニ於テモ容易デアル、斯様ナ理由ニ依リマシテ此四ツノモノヲ指定シマシテ、此法ヲ施行致シタイトト云フ趣旨デアルノデアリマス、但シ此四ツニ一應限定致シテ居リマスルケレドモ、今後或ハ他ノ寄生蟲病ニシテ、之ヲ法律ニ依ツテ豫防スルノ必要ガアルモノガ、或ハ地方的ニ、或ハ種類ニ依リマシテ起リ得ルト存ジマスルノデ、左様ナ場合ニハ更ニ此法ヲ適用スルヤウニ主務大臣ガ其寄生蟲病ヲ指定スル、斯ウ云フ手續ヲ執リタイト存ジテ居ルノデアリマス、差當リ如何ナルモノヲ指定スルカト云フト、現在ノ所ハ指定スル必要モナイカト存ジテ居ルノデアリマスルガ、或ハ將來例ヘバ一例ヲ申シマスルナラバ肺臓「チストマ」ト云フヤウナモノモ、之ヲ指定スルノ必要ガアル所ニ依リト云フコトニナッテ居リマシテ、命令デ以テ此補助率ヲ規定只今ノ所ソレ程ノ必要ガナイカト存ジテ居リマス

スル積リデアリマス、是ハ他ノ此種ノ豫防法ニモ其實例ガアルノデアリマシテ、他ノ法律ノ例ニ依リマスルト、大抵治療費ニ對スル補助ハ支出額ノ四分ノ一、豫防ニ關スル費用ハ支出額ノ六分ノ一ト云フコトニナツテ居リマスルノデ、大體其例ニ依リマシテ命令ヲ以テ之ヲ定ムル積リデ居リマス

ソレカラ次ニ寄生蟲病ノ豫防ニ關スル根本策ハドウデアルカトスウ云フ御質問デゴザイマシタト存ジマスガ、寄生蟲病ノ豫防ノ根幹ヲ爲スモノハ、何ト申シマシテ糞便ノ處置デアラウト存ズルノデアリマス、糞便ノ處置ガ能ク出来マスト云フコトハ、是ハ雷ニ寄生蟲豫防バカリデナク、其他ノ所謂消化器傳染病ノ豫防ニモナルコトデアルノデアリマスルガ故ニ、糞便ノ處置ト云致シマシテ糞便ノ中ニアリマスル所ノ寄生蟲卵ノ死滅ヲ圖ル、斯ウ云フコトガ一番大切カト存ジテ居ルノデアリマス、ソレ又寄生蟲ノ死滅ヲ圖ル、斯ウ云フコトガ一番大切カト存ジテ居ルノデアリマス、ソレは必要ナ問題デアルノデアリマス、是モ種類ニ依リマシテ、例ヘバ肝臓「デスマ」デアリマストカ、住血吸蟲

病デアリマストカ云フモノハ、糞便ノコトガ出來ルノデアリマスルガ、又一面中間宿主デアリマスル所ノ媒介物ヲ根絶スルコトガ出來マスレバ、之ニ依ルハ或ハ下水ノ完成デアリマストカ、或ハ便所ノ改良デアルトカ云フコトニ依テモ豫防スルコトガ出來ルト存ジテ居ルノデアリマス、根本ト致シマシテハ或ハ下水ノ完成デアリマストカ、或ハ便所ノ改良デアルトカ云フコトニ依テ、糞便ノ始末ヲ完全ニスルト云フコトガ根本デアリマスルガ、之ニ相當多額ノ經費ヲ要スル爲メ、今直チニ之ノ申現ヲ期スルコトハ容易デナイト存ズルノデアリマス、併シ漸次是ハ進メテ實現ヲ期スルコトハ何ニ人ノ如キ便池ノ改良モナケレバ、又殆ど便池モナイト云フヤウナ所デモ、比行カナケレバナラヌト存ジテ居ルノデアリマス、差當リト致シテハ色々此病ノデアリマス、併シ漸次是ハ進メテ國民一般ノ寄生蟲ト云フコトニ對シテ十分注意ヲ致シ、之ヲ防止スルト共ニ、又スル知識ト申シマスルカ、自覺ト申シマスルカ、ソレヲ十分涵養致シマシテ、色々ナ施設バカリデハヤハリ十分效果ヲ奏スルコトガ出來マセヌカラ、國民カラ、勿論國民ノ衛生思想ノ發達モ必

要デアリマスガ、政府トシテモ斯ウ云ヒタイ、例ヘバ私ナドノ非常ニ感ジマフ點ニ色々ノ方法ニ依ツテ御注意ヲ願フコトガ一ツノ原因デアル、アノ不潔ナル支那人ニハ寄生蟲病ガ割合ニ少イナル博士ガ經濟往來ニ御書キニナツテ六郎博士ガ經濟往來ニ御書キニナツテ居ル醫業類似行為ト云フモノデモ次ノ如キモノガアル、「テルモ」療法、心靈療法、指壓療法、紫外光線療法、溫熱療法、電氣療法、血液循環療法、太陽光線療法、若返法、氣合術「ラヂウム」療法、手ノヒラ療法、枇杷ノ葉療法、健體術、輕療法、指頭呪術、精神療法、西式強健術、催眠術、酸素療法、斯ウ云フ風ナ色彩ナ治療法ガアル、私等ノ方デハ居合治療法、指頭呪術、精神療法、西式強健術、催眠術、酸素療法、斯ウ云フ風ナ色彩ナ治療法ガアル、私等ノ方デハ居合

云フヤウナ病氣ノ多イ地方ニ於テハ、ソレハ生水ガ善イ場合モアリマセウガ、又一番大切ナコトデアラウカト存ス、ソレガ又一番大切ナコトデアラウカト存ス、ソレハ生水療法ト云フモノハ良イ水ヲ得ルト云フコトヲ防止スルト云フコトジテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニシテ、左様ナ物件ニ依ツテ寄生蟲ノ傳播スルト云フコトヲ防止スルト云フコトモ、是亦必要ナ問題デアルノデアリマス、是モ種類ニ依リマシテ、例ヘバ肝臓「デスマ」デアリマストカ、住血吸蟲「デスマ」デアリマストカ、寄生蟲卵ノ處置即チ糞便〇中島委員 寄生蟲卵ノ處置即チ糞便

ラ、折角醫師ガ安靜ヲ命ジテ、サウシテ
氷嚢ヲ付ケテ居ルモノガ是等ノ療術ヲ
受ケル爲メ安靜ヲ缺キ再ビ咯血ヲ起サ
シメテ、サウシテ死ニ至ラシメルト、斯
ウ云フヤウナコトモアル、血液循環療
法ノ如キハ、或ル癌ノ患者ガアッテ、外
科醫者ニ見テ貰ッタ所ガ、今手術ヲスレ
バ根本的ナ手術ガ出來ルト云フコトヲ
言ツタ、所ガ血液循環療法ヲヤル人ガ來
テ、今血液循環療法ヲヤレバ此癌ハ散
ル、斯ウ言ヒマシタ、素人デアリマスカラ、其方ニ氣ガ變ツテ、二三箇月血液循
環療法ヲ受ケタノデアリマス、サウ致
シマスル中ニ病狀漸次惡ク相成リマシ
テ遂ニ手術ノ期ヲ失ヒ、倒レテシマッ
タ、ソレカラ太靈道トカ靈子術トカ云
フモノガアリマシテ、彼等ノ言フ所デ
ハ十二指腸ノ蟲デモ此法ニ依ツテ驅除
出來ルト申スノデアリマス、然シ實際ニ
工合デ其患者ガ施術ヲ受ケルト蟲ハ取
レタト申スノデアリマス、寄生蟲ノ驅除ガ出來ル筈ハアリマセ
ヌ、次第ニ貧血ニ陥ツテ、心臟ヲ傷メテ
取返シノ付カナイコトニナツタ、斯ウ云
保健衛生上ニ害ヲ及ボスコトガ非常ニ
多いノデアリマス、政府ハ斯ウ云フヤ
ウナ醫業類似ノ行爲ニ依リマシテ、國民ノ
保健衛生上ニ害ヲ及ボスコトガ非常ニ
御取締ニナル御意思ハナイカ、警視廳

ニ於テハ療術行爲ト云フヤウナコトヲ
稍^シ認メタガ如キ取締令ヲ昨年出シテ
居リマスガ、實際ニ光ヲ用ヒ、或ハ熱ヲ
用ヒルト云フコトハ一種ノ醫療行爲デ
アリマス、光ヲ用ヒルト云フニハ色々
ナ醫學上ノ病理ガ分ラナケレバ用ユベ
カラザルモノガアル、サウ云フモノヲ
取締規則ニ依^ツテ或ル程度マデ認メタ
カノ如キ警視廳ガ態度ヲ執ルト云フヤ
ウナコトハ、私ハドウカト思フノデア
リマス、政府ハ斯ウ云フ風ナ醫業類似
ノ行爲ニ對シテ、國民保健衛生ノ改良
發達ノ見地カラ致シマシテ、十分ニ徹
底的ニ御取締ニナル所ノ御意思ハオア
リニナラヌカドウカ、御伺ヲ致シタイ
○赤木政府委員 改良便所ノコトニ付
キマシテハ、是ハ成ベクソレノ普及ス
ルコトヲ希望致シテ居リマシテ、慾憲
ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、理想ト
致シマシテハ全部ノ便所ガ左様ニ改良
サレマシテ、黴菌ナリ若クハ寄生蟲卵
ガ死滅スルコトヲ非常ニ望ンデ居ルノ
デアリマスガ、之ニハ相當ノ經費ヲ要
シマスルノデ、先づ出來ルダケ之ノ普
及センコトヲ希望シテ獎勵ヲ致シテ居
テ相當ニ是ハ行ハレツ、アルヤウデア
ルト云フ程度ニ止メテ居ルノデアリマ
ス、尤モ現在ニ於キマシテ各府縣ニ於
料ニ依リマシテモ、全國デ既設ノ分及

ビ建設中ノモノヲ合セマシテ約五千三百バカラノ改良便所ガ出來テ居リ、又出來ツ、アルヤウデアリマス、ソレデ段々普及シツ、アルヤウデアリマスガ、之ヲ全部ニ徹底セシムルト云フコトハ是ハ容易ナラヌコトデハナイカト思フノデアリマス

ソレカラ醫業類似行爲ノ取締ヲドウスルカト云フ御質疑ニ對シマシテハ、是ハ當局ニ於テモ如何ニスベキカト云フコトニ付テ、目下慎重研究致シテ居ルノデアリマス、警視廳及ビ神奈川縣等ニ於テハ、差當リ取締令ヲ出シテ、弊害ノアルモノニ付テノ取締ヲ致シテ居ルヤウデアリマスガ、マダ其取締ハホシノ始メタバカリデアリマシテ、其取締方法等ニ付テハ十分研究ノ餘地ガアラウト存ジテ居リマス、政府トシテ全國的ニ如何ニ之ヲスルカト云フコトハ、目下研究中デアリマス、只今ノ所デハ之ヲ全部禁止シテシマフトカ、或ル程度マデ認メルト云フヤウナコトニ付テノ意見ハ決定シテ居リマセヌ

○**中島委員** 醫業類似ノ行爲ノ取締ニ付テハ可ナリ長イ間ノ内務省ノ懸案デモアルト思ヒマスガ、成タケ至急ニツ醫業トハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ即チ醫業ノ徹定的ノ定義ヲ御定メヲ願ヒタイ、今ヤッテ居ル醫業類似行爲ト云フモノハ、殆ド醫者同様ノ事ヲ

ヤツテ居ル場合ガ多イ、醫師法第十一條ニモ「免許ヲ受ケズシテ醫業ヲ爲シタル者、停止中醫業ヲ爲シタル者、又ハ第五條、第六條、第七條若クハ第十三條第三項ノ但書ニ違背シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス」斯ウアリマスガ、醫業ト云フモノ、定義ガハツキリ致シマセヌト、ドウモ之ヲ罰スルト云フコトモ出來ヌト思ヒマス、今ノ醫業類似行爲業者ノヤツテ居ルコトハ、殆ド醫者ト同様ナ事ヲヤツテ居ルト思ヒマスカラ、ドウカ此點ニ付テ十分ニ御研究下サイマシテ、至急ニ斯ウ云フモノ、取締法ヲ御制定アランコトヲ希望致シテ置キマス

尙ホ特ニ齋藤政務次官ニ御尋致シマスガ、政府ハ明治三十九年法律第四十七號、即チ現行醫師法ヲ根本カラ御改正ニ相成ル御意思ハナインデアルカドウカ、現行醫師法ハ二十四年前ノ制定ニ係リ、此間行政的醫事衛生ノ進歩發達ト云フモノハ洵ニ著シイモノガアルノデアリマス、隨テ取締上現行法ハ目下ノ事情ニ即シナイト云フコトハ明カナ事實アリマス、就中本法ノ規定ト云フモノガ醫業ニ從事シテ居ル者全般ニ及ンデ居マス、即チ帝國大學ノ教授デアルトカ、陸海軍ノ軍人デアルトカ云フモノハ全ク除外サレテ居ル、斯ウ

云フ風デアルカラ醫業者ヲ取締ル上ニ付テモ、又衛生行政ヲ統一スル上ニ於テモ非常ニ缺陷ガアル、其爲ニ近來ニ於キマシテハ此缺陷ニ乘ジテ業務上ノ惑亂ヲ企テル者ガアル、從テ醫業者ノ統一ガ付カナイト云フヤウナ事ガ漸次ヒドクナッテ居ル、尙ホ國家ガ衛生上ノ大キナ社會施設トシチャッテ居ラル、所ノ健康保險醫療給付事業ノ如キモ、

今デハ統一ガ付キ難イヤウナ狀況ニナテ居リマス、日本醫師會ニ於テモ數年來醫師法ノ根本的改正ヲ要望シテ居ル譯デアリマスガ、此際政府ハ現行醫師法ヲ根本ヨリ御改正ニナル御意思ハナ

イカドウカ、此點ヲ御伺致シタイ○齋藤政府委員 御說ノ如ク醫師法ガ

制定セラレテカラ大分年月モ經テ居リマス、ノミナラズ、醫師方面カラモ此改

正ヲ要求シテ居ラレルコトハ能ク存ジテ居リマス、ソレ故ニ政府ニ於テモ醫

師法ノ改正ニ付テハ相當ニ研究シテ居ルノデアリマスガ、併シ今日俄ニ之ヲ根本的ニ改正スルカセヌカト云フコト

ニ付テハ、マダ結論ニ達シテ居ラナイノデアリマス、併シ十分ニ研究ヲ致シテ居リマスノミナラズ、色々改正シマスルニ付キマンシテハ問題ガアリマセウ、ドウカ御研究ノ結果、醫師法ノドウ

云フ點ニ付テ改正スル必要ガアルト云フヤウナコトニ付テ、具體的ニ御研究

ノ結果ヲ御教ヘ下サイマシタナラバ、錢ヤ二十錢ハ要スル、先ツ一年一回ト

要スルニ政府ノ方ニ於キマシテハ、此點ニ付キマンシテハ年來考ヘテ居リマスガ、マダ今日ニ於キマシテハ其處マデ

達シテ居リマセヌカラ、左様ニ御承知ヲ願ツテ置キマス

○永田委員 本案ノ趣旨ハ、勿論是ハ國民保健ノ上ニ結構ナコトデアリマス

ルガ、之ヲ實施スル上ニ於キマシテハ非常ナル困難ト、經費ガ伴フモノト思

テ當局ノ御意思ヲ二三御尋シタイト思

フノデアリマス、第三條ノ寄生蟲ノ豫防ヲ講ズル方法デアリマスガ、此點ニ付キマシテ先刻當局ノ方カラ改良便所

ノ話モアリマシタ、是ハ最モ必要ナコト、思ヒマスケレドモ、儲テ之ヲ日本

全國ニ實施スルニ當リマシテハ、相當多額ノ經費ヲ要スルモノト思フノデア

リマス、假ニ一戸平均少ク見テ十圓ト

見テモ、日本全國ニ取リマシテハ尠クノト思ヒマス、尙ホ私ノ地方、鹿兒島縣

地方ナドニ於キマシテハ、蛔蟲ノ驅除ニ當リマシテハ、俗ニ賣藥ノ「セメント

」ヲ使ツテ居ルノデアリマス、アレヲ子供ヤ家族ガ一回宛使ツテモ尠クトモ十

ノ上ニモ非常ナ疲弊困憊ヲ致シテ居ル

際ニ、本法ヲ實施スルニ當リマシテハ、餘程國民一般困ルヤウナコトモ多々生ジハセヌカト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ

要スル、然ルニ之ヲ徹底的ニ驅除スル付キマシテ私共ハ從來ノ内務省ノ支出ニナリマシタ六分ノ一等ノ少イ補助ノ例

ニハ一回デハイケナインデアリマス、經費ガ伴フノデアリマス、一年ニ數回モ使ヒマスト、數千萬圓ノ

於キマシテハ非常ナ經費ガ伴フコトハ豫想セラレルノデアリマス、而シテ從來政府ガヤツテ居ラレタ「トラホーム」ノ

非常ナル困難ト、經費ガ伴フモノト思ルガ、之ヲ實施スル上ニ於キマシテハノ豫防法ノ如キ、又昨年モ汚物ノ處分

法案ガ出マシタガ、之ニ付キマシテモ隨分貴族院ノ方面デ議論モアッタヤウ

テ當局ノ御意思ヲ二三御尋シタイト思

フノデアリマスガ、私ハ從來町村ニ於キマシテ、如何ニモ斯ウ云フ少額ナコトデ

シテ體驗ノ上カラ、先刻議員ノ方モ御

防ヲ講ズル方法デアリマスガ、此點ニ付キマシテ先刻當局ノ方カラ改良便所

ノ話ガアリマシタガ、補助ノ點ニ付キマシテ、如何ニモ斯ウ云フ少額ナコトデ

シテ、如ヒマスケレドモ、尙又縣費ノ補助等ニ付キマシテハ、参考書ニ三分ノ一トノ

例モ見エテ居リマスガ、縱令縣ガ三分

ノ一、國ガ六分ノ一位ノ經費ヲ御出シ

付キマシテハ、参考書ニ三分ノ一トノ

ノト思ヒマス、尙ホ私ノ地方、鹿兒島縣

カラ之ヲ考ヘテ見マスト、餘程困リハ

アルト信ズル者デアリマスカラ、此點

カラ考ヘテモ、補助金ノ増額ノ必要ガ

ノ製造ノ點ニ付キマシテ、多少困ッタ點

ガ起リハセヌカト思フノデアリマス、

ソレハ御承知ノ通リ吾々農家ニ於キマ

シテハ、人糞尿ノ堆肥トカ色々ナモノヲ混ヘテ、金肥以外ニ自給策ヲ講ジテ居ルコトハ皆様御承知ノ通リデアリマス、是等ガムヅカシイ取締規則ノ爲ニハ罰金ヲ出サナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマスト、其農家ノ肥料ノ自給自足ノ方面カラ非常ニ困ルヤウナ事ガ生ジハセヌカ、是等ニ付テ當局ハ御考慮ヲ拂ツテ居ラレルカ、先ツ以上ノ點ニ付テ御尋シテ置キマス。其次ニ健康診斷ヤ糞便ノ検査ヲ爲ナル、場合ニ、之ヲ強制的ニ行ハレル場合ニ、相當國民トシテハ暇モ潰サナケレバナラヌシ、色々ナル困難ナ事ガ生ズルト思ツテ居リマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ本案ノ實施ノ上ニハ多大ノ困難ナル事情ガ伏在スルモノト思ツテ居リマスカラ、私ハ大體ノ結論トシテ、此法案ノ效果ヲ擧ゲル上ニ於キマシテ一番大事ナコトハ、ヤハリ經費ノ點ニ歸納シテ行カネバナラヌモノト信ズルノデアリマス、此理由カラ私ハ第七條ノ六分ノ一ノ補助ヲ二分ノ一、若クハ尠クトモ三分ノ一二増額セラル、ノ意思ハナイカドウカ、是ガ私ノ質問ノ結論ニアツテ居リマス、以上簡單ニ御質問致シマス。

ニ用ヒサセナイト云フヤウナコトニナリマスナラバ、甚ダ實際上困ルコトニナラウト思フノデアリマス、唯此法案ヲ實施スル上ニ於テ考ヘマスルコトハ、農家ガ人糞ヲ肥料ニ使用致シマスル上ニ於キマシテモ、所謂生肥ヲ成ベク用ヒナイヤウニ致シマシテ、或ハ肥料溜ニ相當ノ期間置イテ之ヲ腐敗セシメテ、サウシテ肥料ニ用ヒルト云フコトニナリマシタナラバ、人糞ヲ肥料ニスルト云フ目的ト、病源ヲ撲滅スルト云フ目的ヲ同時ニ達スルコトガ出来、而モ之ニ依ツテサシタル負擔ヲ伴ハナイデ出来ルノデハナカラウカ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

次ニ補助ノ問題デアリマスガ、之モ御尤ナ御話デアルト存ズルノデアリマス、何ヲ申シマシテモ此法案ヲ徹底的ニ施行致シマシテ、又此病氣ヲ徹底的に豫防致スニハ、相當多額ノ經費ヲ要スルコトハ御話ノ通リト存ズルノデアリマス、併ナガラ今日ノ現状ニ於キマシテ理想ノ通リ之ヲ徹底的ニ實施スルト云フコトハ、是ハ容易ナコトデナイト存ズルノデアリマス、國民ノ經濟力ニ許ス限リニ於テ、財政ノ許ス範圍ニ

於テ漸次努メルト云フコトニスルヨリ致方ガナイト存ズルノデアリマス、補助ノ率ヲ増スト云フコトニナリマスルト、是ハ啻ニ寄生蟲等ノ豫防バカリデナク、其他ノ總テノ疾病ノ豫防ニ付キマシテモ、ヤハリ同様ナコト、存ズルノデアリマス、十分ニ國費ヲ投ジテ之ヲ豫防スルコトニ努メルト云フコトハ、是ハ望マシイ事デアリマスケレドモ、今日ノ實情ニ於キマシテハ實現スルコトヲ困難ト存ジテ居リマスルノデ、此率ヲ増額スルト云フコトハ到底出來ナイコト、存ジテ居ルノデアリマス、併シ現在ニ於キマシテモ既ニ地方費ナリ、町村費ナリデ相當ノ額ヲ支出致シテ此寄生蟲ノ豫防、殊ニ病毒ノ濃厚ナ地方ニ於テハ相當ニ努メテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ經費豫算ノ範圍内ニ於テ大體十分ニ、法ヲ活用スルコトニ依リマシテモ相當ノ效果ヲ擧グルコトガ出來ルト存ジマスルシ、又此法ヲ制定致シマシテ、寄生蟲病ト云フモノガ如何ニ害毒ノ大ナルモノデアルカ、ドウシテモ之ヲ驅除スルコトガ、國民ノ健康、體位ノ向上ト云フコトニ付テ大切ナルモノデアルト云フ事ヲ國民ニ十分ニ知ラシメル上ニ於テモ、尠ナカラザル效果ガアルト存ジテ居ルノデアリマス、率ヲ増加スルト云フコトハ、是ハ現下ノ狀況ニ於キマシテ出來ナイコト

○永田委員 私ハ此法案ノ精神ニハ、先程カラ話ス通りニ、非常ニ賛成スルノデアリマスガ、ヤハリ何ト申上ゲマシテモ結論ハ、多分ノ經費ヲ要シナガラ、ソレニ向ッテ國庫カラ相當ノ補助ガナイト、實際ニハ寄生蟲ノ驅除法ハ徹底スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、之ニ付キマシテヤハリ補助額ガ從來ノ通リニ先例ノ六分ノ一位ト云フヤウナ少ナイ金額デハ、是ハ決シテ徹底ヲ見ルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、ソレデ本案ヲ御提出ニナッタ以上ハ、其效果ヲ擧グル上ニ付テ、當局ニ於テ最初カラ勇猛心ヲ發揮サレルコトガ必要ト思フノデアリマス、次官ノ今ノ御話ニ依ルト、補助ノ方ハドウモ微溫的デアル、ソレデハ一切町村トシテハ非常ナ困難ヲ生ズルコトガ多イト云フコトヲ深ク信ジテ居リマスルカラ、此際是非先例ヲ破ッテ戴キタイ、六分ノ一ト云フヤウナ少ナイ補助ヲ與ヘルト云フノハ、實際町村ニ於テ苦シイト云フ例ガ多々アルノデアリマス、此際左様ナコトナク、モウ一段ノ御工夫ヲ御願シタインデアリマス、此點ニ對シテ齋藤政務次官ノ御意向ハ如何デアリマスカ、御尋シテ置キマス

制定致シマス以上ハ、此法律ガ萬遍ナ
テ居リマスルケレド、何分ニモ——此
法律ニハ限リマセヌガ、何レ近ク衛生
組合法ト云フモノモ衆議院ノ方ニ廻ツ
テ來ルダラウト思ヒマスガ、總テ此衛生
ニ關スル法律ヲ實施スルニ付テハ相當
金ガ掛ルノデアリマス、所ガ國家ノ財政
狀態、民間ノ經濟狀態ガ御承知ノヤウ
ナ有様デゴザイマスカラ、今俄ニ十分
ナ費用ヲ投ジテ此法律ノ效果ヲバ徹底
セシムルト云フコトハ至難ノ業デアラ
ウト思ヒマス、併ナガラ何ト云ッテモ衛
生ノ事ハ、段々ト思想ガ普及致シマシ
テ、國民自衛ノ爲ニ衛生設備ヲバ出來
得ル限り完備シタイト云フ、此希望ハ
ヲスルニモ國家ノ財政狀態ト相談セネ
溢レテ居ルヤウデアリマズルカラ、出
來得ル限り努力致シマス、併ナガラ何
ヲナラヌノデアリマスカラ、財政ガ良
クナレバ此方モ潤ツテ來ルデアリマセ
ウガ、財政ガ逼迫ノ場合ニハドウモ思
フヤウニ參ラヌ點モアリマスガ、其方
ノ事ハドウカ今日ノ財政經濟ノ實情ヲ
能ク御諒承下サイマシテ、先ヅ政府ハ
出來得ル限り金ヲ出シテ努力スルト云
フ、此抽象的言葉デ御満足下サレンコ
トヲバ御願致シマス

○中崎委員 私ハ此寄生蟲豫防法ノ根
本問題ニ付テ齋藤政務次官ニ御質問ス
ル積リデアリマシタガ、只今ノ御質問
ニ依ツテ餘程盡キテ居ルヤウデアリマ
スガ、一體此法案ハ洵ニ結構ナ法案デ、
現在ノ日本ノ状態カラ考ヘテモ、又對
カラ考ヘテ見マシテモ、適切ナル法案
デアル、是ニハモウ何等異議ハナイノ
デアリマス、併ナガラ其適切ナル法案
ヲ真ニ有效ナラシムルト云フコトニナ
ルト、今齋藤次官ノ言ハレタヤウナコ
トデハ到底私ハ效果ガ望メナイト思
フ、唯斯ウ云フ法案ヲ出シタト云フダ
ケニ止シテ、何等結果ニ於テハ得ル所ガ
ナイト云フヤウナコトニナリハシナイ
カト云フ憂ヲ懷イテ居ルノデアリマ
ス、此内容カラ考ヘテ見マシテモ、本
法ヲ實施スルニ付テハ、是ハ餘程ノ費
用ガ掛ルト私ハ思フ、現在ノヤウナ町
村ノ經濟状態ニ於テ、而モ只今齋藤次
官ガ言ハレタ如ク、衛生組合法ト云フ
案ト云フヤウナコトデ、町村ニ其費用
ヲ負擔サセルト云フヤウナコトデアッ
タナラバ、本案ノ精神ガ行瓦ツテ徹底ス
ルダラウカドウダラウカト云フ事ヲ疑
フノデアリマス、只今ノ御説ノヤウニ
六分ノ一ノ國庫補助トカ、地方費ノ三
分ノ一ト云フヤウナモノノミニ依ツテ
スガ、到底町村ハ負擔ニ堪ヘラレナイト
如何ニ衛生ト云フコトハ國民ノ大事ナ
ル、是ハ政府ハ餘程ノ覺悟ヲ以テ、口ニ
言フノデアリマス、併ナガラ實際ニ晦
ンデ見ルト今日委員長モ例證サレタキ
ウナモノデ、斯ウ云フ法案ハ如何ニモ
輕視シサレル傾向ガアルノハ重大デア
ル、費用モ出サナケレバナラヌト云フ
コトヲ能ク言ハレマスガ、儲テ鬱テ考
ヘテ見ルト一向顧ミル者ガ少イト云フ
ノデ、ドウモ提燈ノ點ヶ放シ、サウシテ
後ハ消エテシマフト云フヤウナコトニ
ナルコトヲ私ハ非常ニ恐レテ居ル、後
ノ細カナコトハ別ニ伺ヒマスガ、此問
題ニ付テ尙ホ重複デアリマスケレド
モ、齋藤次官ヲ通ジマシテ、私ハ徹底的
ニ之ヲシモ效力アラシムルモノデアリマ
スガ、今一應費用ノ問題ニ付テ何トカ
ス、此寄生蟲豫防法モ、之ヲ效果アラシ
ムベク實施スルニ付キマシテハ、數字
ハマダ能ク分リマセヌガ、金ガ掛ルヨ

トデアリマス、ソレカラ今此委員會ニ付託サレテ居リマスル所ノ懲豫防法ニ關スル法律ノ改正案モ、サウ大キナ金デハアリマセヌガ、何レモ經費ノ伴フ法律案ナノデアリマス、サウ云フ工合デ近年國民ノ衛生思想ト云フモノガ漸次ニ發達ヲ致シテ參リマスルシ、隨テ政府モ此點ニ付キマシテハ非常ニ注意ヲ致シマシテ、殊ニ今ノ内務大臣ハ衛生大臣ト綽名サレテ居ル程デ隨分衛生ニハ注意シテ居ラレルノデアリマス、其結果斯ウ云フ法律ノ改正案ガ現レルニ至ツタノデアリマスガ、何ヲ申シマシテモ隨分金ガ掛リマス、サリトテ繰返シテ申シマスルヤウニ、政府ノ財政状態ハ何方カト言ヘバ悲境デゴザイマシテ、有ユル方面ニ金ガ要ル、其金ヲ十分ニ供給スルコトガ出來ナイノガ、今日ニ政府ノ惱ミトナッテ居ル次第デアリマスカラ、此法律ヲ成立サセマシテナル效果ヲ舉グルコトハムヅカシイカト思ヒマス、併ナガラ何事モ初カラ十分ナ成績ヲ舉グルコトハ出來ズト雖モ、十ノモノハ半分成績ヲ舉ゲテモ、亦三割成績ヲ舉ゲマシテモ、成績ヲ舉ゲタダケソレダケ國家社會ノ利益ニナルノデアリマスカラ、先づ其考ヲ以テ進ムヨリ外ニ致方ハナイノデアリマス、今此法律ヲ作ツテモ何等ノ效果ハナイト云フノナラバ仕方ガアリマセヌガ、

法律ヲ作りマシタノハ十全ノ效果ハ擧
ゲルコトガ出來ズト雖モ、或ル程度ノ
效果ハ擧ゲルコトガ出來ルノミナラ
ズ、又是ガ基ニナリマシテ漸次ニ法律
全體ノ目的ヲ達スルヤウニナルノデア
ラウト思ヒマスカラ、先づ其趣旨ヲ以
テ此法案ヲ御審議ノ上成立サシテ下サ
ルヤウニ御願ヲ致シマス、ドノ法律ノ
御審議ヲ仰グニ當リマシテモ、繰返シ
テ申シマスルガ、皆金ガ要リマスノデ、
其金ハ十分デハアリマセヌガ、サリト
テ一文モ金ナシニ之ヲヤルト云フノデ
ハアリマセヌ、中央ノ經濟モ地方自治
體ノ經濟モ悲境ニ陥ツテ居リマスケレ
ドモ、併シ衛生思想ガ段々發達シテ參
リマスカラ、地方自治體ニ於テモ府縣
ニ於テモ、當局者ガ相當ノ考ヲ持ツテ此
法律ヲ運用スルニ付テ、或ル程度ノ成
績ヲ擧ゲ得ルコト、思ヒマス、左様御
了解ノ上ニ御審議下サランコトヲ御願
致シマス。

度中ニ之ニ關スル經費ヲ、追加豫算等ノ手段ヲ以テ計上スルコトハ出來ナイコトニナッテ居リマス、併シ來年度ニ至リマシタナラバ、財政ノ都合ニ依リマシテ或ル程度ノ經費ハ無論内務省トシテハ要求スル積リデゴザイマスガ、併シ大藏省ニ於テドウ云フヤウナ工合ニ之ヲ取扱ツテ吳レルカト云フコトハ、大分先ノコトデアリマスカラ、今日確言スルコトハ出來マセヌガ、兎ニ角内務省トシテハ既ニ法律ヲ制定シテ實施致シマスル以上ハ、之ニ要スル經費ハ相當ニ計上致ス積リデアリマス、併シ本年ハ遺憾ナガラ右申シマシタヤウナ次第デ、之ニ關スル中央ノ政府ノ豫算ハナイノデアリマス

算ハ持ツテ居リマセヌガ、從來保健衛生
シテ、其中デ寄生蟲ノ豫防ニ對シテ一
定ノ獎勵金ヲ出シテ居リマス、隨テ法
律ニ基ク所ノ補助トシテ支出スルコト
ハ出來マセヌガ、獎勵金ト致シマシテ
現在持ツテ居ル豫算ノ範圍内ニ於テ、是
マデノ如ク相當ノ金額ヲ支出スルコト
ガ出來ルト云フコトニナリマスノデ、
實際上ハ支障ナイト思ヒマス

○中崎委員 大體ノ問題ニ付キマシテ
ハ只今ノ質問デ打切りマシテ、少シク
逐條ニ瓦リマシテ御質疑ヲ致シタイト
思ヒマス、第一條ノ蛔蟲病、十二指腸蟲
病、住血吸蟲病、肝臟「チストマ」病ト四
種類ニ分類サレテ居リマスガ、私ノ地
方ナドデハ、寄生蟲デナイカモ知レマ
セヌガ、相當害毒ヲ流シテ居リマスル
「ワイルス」氏病ノヤウナモノモアルノ
デアリマス、之ヲ將來此寄生蟲豫防法
ノ中ニデモ入レルヤウナ御意思ハナイ
ノデアリマスカ、或ハ別ナ方法デモアッ
タノデアリマスカ、ソレヲ伺ツテ置キマ
ス、第二ニハ糞便ノ處置デアリマス、此
糞便ノ處置ヲ完全ニスルニハドウ云フ
方法ガアルカ、若シアリトスレバ、其費
用ハドレ位掛ル御見込デアリマスカ、是
等ニ付テノ方法ヲ、最近學術的ニ完全

ナル方法ト考ヘラレタモノハドンナ
モノデアルカ、ソレモ承知シテ見タイ
ト思フノデアリマス、ソレカラ第三ニ
ハ先刻モ御質問ガアツタノデアリマスガ、
此糞便ノ處置ト云フコト、糞便ヲ
肥料トシテ使フト云フ問題ハ、中々是
ハ農村經濟ノ問題カラシテ餘程重大ナ
關係ガアルノデアリマス、私ノ地方ナ
ドニ於テハ、此糞便ヲ堆肥等ニ致シテ
之ヲ農家ガ使フコトハ、非常ニ今日ノ
肥料經濟ヲ補ツテ行クコトガ多イノデ
アリマス、是ト糞便ヲ消毒スルト云フ
ヤウナコトノ爲ニ、何等カ矛盾ヲ來ス
ヤウナ虞ハナイダラウカト云フヤウナ
コトモ一ツ伺ツテ置キタイトノデアリマ
ス

ラレルト云フヤウナ緩慢ナ性質ノ問題ニ付キマシテハ、ドウモ放ツテ置カレル虞ガアリハセンカ、政府ガ心配サレテ發布セラレマシテモ、地方長官ガ又其處置ヲ町村長ニ命ジマシテモ、其實行ノ困難ナコトハ餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテノ政府ノ御所見ハドウデアリマスカ、ソレニ付テ一寸伺ツテ置キタイ

○赤木政府委員 「ワイルス」氏病ノ如キモノヲ本法ノ病氣トシテ豫防ヲスルコトハ出來ナイカト云フヤウナ御質疑ガ第一デアッタト思ヒマス、是ハ所謂寄生蟲病ト云フコトニハ屬シナイカト存ズルノデアリマス、例ヘバ「ワイルス」氏病ニ致シマシテモ、亦「マラリヤ」ニ致シマシテモ、若シ之ヲ法律ニ依ツテ豫防スルコトノ必要ガアルト云フコトニナリマスナラバ、此法ノ運用ニ依ラズシテ傳染病豫防法ニ於テ之ヲ指定致シテ豫防スル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス

ソレカラ糞便ノ處置ト云フコトニ付キマシテハ、之ヲ完全ニスル爲ニハ非常ニ多額ノ金ヲ要スルト云フコトハ御話ノ通リデアルノデアリマス、理想ト

ニ付キマシテハ、是ハ日本ノ各住宅ニ於ケル便所ノ構造ガ變リマシテ、所謂改良便所ト云フコトニナリマシテ、糞便ガ便所ノ中ニ於キマシテ寄生蟲ナリ

ニ付キマシテ相當ノ期間貯溜致シマシタル

マス、併ナガラ之ニハ非常ニ多額ノ經費ヲ要スルコトニナリマスノデ、先刻

永田委員カラモ御話ガアリマシタヤウ

ニ、假ニ一個十圓ト致シマシテモ相當

ノデ、隨テ全部左様ナ實現ヲ急速ニ期スルト云フコトハ、是ハ容易ナコトデ

ナイト存ズルノデアリマス、併ナガラヲ要シナイデ出來ルデアラウ、斯様ニ

左様ナコトガ普及致シマセヌデモ、又

非常ニ多額ノ經費ヲ要シマセヌデモ、

死滅セシメルコトガ出來ルノデハナイ尙且ツ寄生蟲ナルモノヲ或程度ニ於テ

カト存ズルノデアリマス、而モソレニ

依ツテ日本ノ農村ニ於テ現在行ハレテ

居リマス所ノ、肥料ニ糞便ヲ使用スルト云フコト、矛盾シナイデ出來ルコト

ト存ズルノデアリマス、ソレハ農村ニ

於テ糞便ヲ肥料ニ致シマスル際ニ、所謂生肥ヲ用フルト云フコトガ一番危険

デアル、之ヲ肥料溜ニ貯溜致シマシテ、

テ使用スルト云フコトニ致シマスナラバ、別ニ薬品ヲ加ヘル譯デモ何デモア

リマセヌカラ、肥料トシテ效果ヲ損セ

ト思フ、今日ノ農村ノ實際ヲ申スト、完

シニアタリノ御考ニスルト、農家ハ斯ウ

云フ設備ガ出來得ルト云フコトニ御承

知ニナツテ居ルコトガ私ハ間違ツテ居ル

ト思フ、今日ノ農村ノ實際ヲ申スト、完

トカ云フヤウナモノヲ御出シニナル御

結論ニ達スルト思フ、サウ云フコトニ

付テ何カ將來獎勵費トカ、或ハ補助費

トカ云フヤウナモノヲ御出シニナル御

意思ガアルカ、又ソレ等ノ御用意ガア

ルカドウカ、ソレヲ承リタイ

○赤木政府委員 「ワイルス」氏病ノ如

キ、或ハ「マラリヤ」等ニ對シマシテハ、

是ハ實ハ御承知ノ通り地方的若クハ局部的デゴザイマシテ、一般的デハナイノデアリマス、例へバ「マラリヤ」ノ如キハ或ル地方ニアッテハ、是ハ傳染病豫防法ニ依ツテ豫防方法ヲ講ズル必要ガアルカト思ヒマス、「ワイルス」氏病ニ付キマシテハ、マダ蔓延ノ程度ガ今日ノ所ソレ程マデニ達シテ居ルトハ存ジマセヌガ、是モ必要ニ應ジテハ指定致サシメルコトニナラウト存スルノデアリマス、今直チニ「ワイルス」氏病ヲ傳染病豫防法ニ依ツテ指定スル考ハ持テ居リマセヌ、ソレカラ農村ノ實情ニ付テ色々御話ガゴザイマシタガ、便所ノ改良等ニ對シテ補助ヲスルカ、ドウカ、是ハ現在各府縣ニ於キマシテモ、所謂改良便所ニ對シテハ獎勵費若クハ補助費ヲ相當ニ支出シテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ漸次普及シツ・アルヤウニ存ジテ居リマスガ、此法律ノ建前ト致シマシテハ、將來豫算ガ取レマス、ソレバ左様ナモノニ對シテハヤハリ國庫ノ補助ヲ支出スル積リデ居ルノデアリマス、是ハ豫算ノ取レタ上ノコトデアリマスガ、法律ノ建前ト致シテハ左様ナモノニ對シテモ補助ヲ出シテ之ヲ獎勵致シタイト云フ考デアリマス

○中馬委員長 大體ニ於テ分リマシタハ此程度デ止メテ置キマシテ、次ハ如

午前十一時五十四分散會

何デセウ、糞便ヲ冬ハ幾日間貯溜スレバ宜イ、夏ハ幾日間貯溜スレバ宜イトカ、其實驗ヲ各専門家デ研究サレテ居ル事ト思ヒマスガ、サウ云フ御研究ガアツテ印刷物ニデモナツテ居ルモノガアルカト思ヒマスガ、サウ云フ御研究ガツタラ、御提出ニナツタラ如何デセウ、ソラ、肥料價値ガドレ位減ルカ、或ハ殖エルカト云フコトニ付テ、内務省デハ御研究ニナツテ居ルデセウガ、農林省トノ關係ガドウナツテ居ルカ、相當ノ研究ノヲシテ居ラレルコト思フノデアリマスカラ、誰カ農事技師ノ人デ御研究ノ方ガアツタラ御出席ヲ願ツタラ宜イト思ヒマス、此事ヲ御計ヒヲ願ヒマス、尙ホ是ハ我國デ――或ハ世界デ初メテ出來ル法律デアラウト思ヒマスカラ、慎重ニ研究致シタイト思ヒマス、次ハ明日モヤリタイト思ヒマスガ、速記ノ都合デ明後日ニナルカモ知レマセヌ、ソレハ公報デ御通知スルコトニ致シマス、今日ハ此程度デ散會致シマス